



～今号の内容～

- ・各研究部の最新情報！
- ・基幹種雄牛の選抜について
- ・お知らせ

## 各研究部の最新情報！

### 【飛騨牛研究部】

第12回全国和牛能力共進会が鹿児島県霧島市で開催されました。畜産研究所飛騨牛研究部からは、第1区(若雄)に「雪月桜」号を出品しました。第1区は、和牛集団の遺伝的多様性の維持・拡大、地域における特色ある系統の再構築と造成を目指し、各県の特色ある遺伝子を保留・固定していくための種雄牛候補の造成を目的とした区です。審査の結果、優等賞15席に入賞し、第11回大会の成績(一等賞2席)を上回る成績を残すことができました。今後、出品した「雪月桜」号の凍結精液が利用され、多くの産子が誕生し、岐阜県和牛集団の遺伝的多様性の維持に貢献することが期待されます。



### 【酪農研究部】

岐阜県学校農業クラブ連盟が主催する家畜審査競技(乳牛の部)が6月16日に畜産研究所酪農研究部において実施されました。本大会は、豚熱や新型コロナウイルスの影響で4年ぶりの開催となり、県内の農業高校4校から選抜された生徒が乳牛の目利きの技術を競い、定められた時間内に育成牛と搾乳牛計8頭の乳房や肢蹄、骨格などを近くで観察したり、体に触れたりして順位付けを行いました。審査員は同研究部の研究員が努め、大垣養老高校の生徒が最優秀賞に輝きました。



### 【養豚・養鶏研究部】

当部では令和元年度から美濃加茂市と関市にあった試験地を関市に集約する再編整備事業を実施しているところですが、令和3年度には鶏舎、孵卵舎など養鶏エリアにおける主要施設の工事が行われ、令和4年春に完成しました。これに伴い、現在、旧施設から新施設への各種機材の移転を順次行っており、新たな養鶏エリア稼働に向けた準備が進められています。鳥インフルエンザなどの疾病対策には十分注意する必要があり、衛生管理区域への入場や飼養管理ルールも厳しくなっていることから、移転についても細心の注意を払っています。

今回の新施設の完成により、今後さらに業界の発展に寄与する研究、種卵等の供給に努めたいと考えています。なお当部の再編整備については今後、環境エリア、養豚エリアと進み、予定では令和6年度に全ての施設が完成する予定です。



## 新規基幹種雄牛の紹介

令和4年度飛騨牛改良推進事業専門委員会で、「柊富士」が基幹種雄牛として選抜されました。「柊富士」は、平成28年度の種雄牛造成方針(「白清85の3」の後継牛を父に持つ繁殖雌牛に交配できる飛騨牛の特徴を兼ね備えた種雄牛の造成)を基に、母「みつき」に気高系種雄牛「景平勝」を交配して造成しました。特に発育、体積に優れており、現場後代検定出荷牛の枝肉成績を調査したところ、枝肉重量、ロース芯面積および歩留まり基準値が良好でした。また、本牛を交配して誕生した繁殖雌牛の体型も優れており、安福系繁殖雌牛の交配相手として利用が期待されます。



生年月日：平成28年11月19日

登録点数：84.6点

生産者：下呂市門和佐

細江 恵二

血統

景	平	勝	〔	平	茂	勝	(第20平茂)
(黒原3561)			〔	か	げ	ひ	ら (景藤)
〔	み	つ	き	〔	光	平	福 (平茂勝)
(黒高219621)			〔	か	つ	ゆ	き (飛騨白清)

## お知らせ

【飛騨牛研究部】現場後代検定枝肉研究会の開催予定

今年度の種雄牛候補牛の産肉能力検定に係る枝肉研究会の開催予定はつぎのとおりです。

- ・令和5年 1月 「永虎久(ながとらひさ)」
- ・令和5年 3月 「光清福(みつきよふく)」

## 岐阜県畜産研究所

ホームページ <http://www.livestock.rd.pref.gifu.lg.jp>

### □ 飛騨牛研究部

〒506-0101 高山市清見町牧ヶ洞 4393-1 Tel:0577-68-2226 Fax:0577-68-2227

### □ 酪農研究部

〒509-7601 恵那市山岡町久保原 1975-615 Tel:0573-56-2769 Fax:0573-56-2974

### □ 養豚・養鶏研究部

〒501-3924 関市迫間 2672-1 Tel:0575-22-3165 Fax:0575-22-3164